

# 和歌山縣報

第九百七十八號

明治四十三年五月二十四日

## ○訓令

○和歌山縣訓令第十九號

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

本邦蠶糸業ハ近時長足ノ進歩發展ヲナシ昨年ノ如キ一般絲價下落シタリト雖尙輸出額壹億參千萬圓ニ達シ之ヲ總輸出額ニ比スルトキハ其三割以上ヲ占メ之ニ絹布類ヲ加算スルトキハ約四割ニ及ヒ國家經濟上及貿易ノ均衡上實ニ重要ノモノナリ翻テ本縣斯業ノ狀態ヲ見ルニ其ノ指道誘掖ヲ要スヘキ事項少ナシトモスト雖就中現今最魚眉ノ急ヲ認ムルモノハ生繭賣買ニ關シ重量單位ノ一定セサルコアリ是等ハ取引計算上賣買者相互ノ不便ナルノミナラス之カ價格ヲ定ムルニ付生産者ノ不利益實ニ少ナカラサルモノアリ依テ是等ノ弊害ヲ一掃センカ爲爾今生繭賣買ニ際シ價格ヲ定ムル重量單位ヲ壹貫目トシ賣買取引ヲ爲サシムル様十分ノ注意ヲ與フルト共ニ之カ勵行ヲ遺憾ナカラシメムコトヲ期スヘシ

明治四十三年五月二十四日

和歌山縣知事 川上 親 晴

○ 辞 令

○明治四十三年五月廿日

和歌山縣警察書記ヲ命ス

月俸拾八圓ヲ給ス

警察部衛生課勤務ヲ命ス

和歌山縣警察書記ヲ命ス

月俸拾七圓ヲ給ス

警察部高等警察係勤務ヲ命ス

和歌山縣警察書記ヲ命ス

月俸拾七圓ヲ給ス

警察部警務課勤務ヲ命ス

和歌山縣警察書記ヲ命ス

月俸拾五圓ヲ給ス

警察部警務課勤務ヲ命ス

和歌山縣警察書記ヲ命ス

月俸拾五圓ヲ給ス

警察部衛生課勤務ヲ命ス

和歌山縣警察書記ヲ命ス

内田昌一

和田 實

鈴木麟一郎

山中藤楠

中村龜吉

栗栖彌次郎

月俸拾五圓ヲ給ス

警察部保安課勤務ヲ命ス

○明治四十三年五月廿一日

願ニ依リ職務ヲ免ス

和歌山市立和歌山商業學校教諭心得ヲ命ス

月俸參拾圓ヲ給ス

○明治四十三年五月廿一日

和歌山商業學校教諭心得

高岡 徳藏  
後藤 保三郎

伊都郡長

豊永 狷介

那賀郡長

伊藤 信平

東牟婁郡長

吉田 穰

警視

武田 巖作

警部

津田 盛太郎

警部

表野 龜太郎

警部

久保田 廣助

警部補

木村 實

警部補

山田 稔

警部補

貴志 得彌太

警部補

宇田 鶴楠

警部補

竹田 貞之丞



檢疫委員ヲ命ス  
獸疫檢疫委員ヲ命ス

(各通)

畜牛結核病検査員ヲ命ス

### ○町村吏員ノ異動

○明治四十三年五月二十一日認可

警部補	警部	警部	警部	警部補	警部補	警部補	警部補	警部補	警部補
武田巖作	津田盛太郎	表野龜太郎	久保田廣助	木村實	山田稔	貴志得彌太	宇田鶴楠	竹田貞之丞	

伊都郡天野村助役	益田貞八百
東牟婁郡三津ノ村長	水島豊藏
東牟婁郡七川村長	宮本土郎

○ 實 報

○ 轉任 和歌山高等女學校教諭赤井謙ハ五月十日島根縣立濱田高等女學校教諭ニ轉任セリ

八月廿

# ○觀象

自五月十九日至五月廿一日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	五月十九日		五月二十日		五月廿一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五八耗六	七五七耗二	七五三耗九	七六一耗五	七五五耗三	七六二耗五
平均氣溫	一八度九	一六度一	二〇度〇	一五度六	一七度八	一六度四
最高氣溫	二五度二	二一度二	二三度二	二二度四	二三度六	二〇度九
最低氣溫	一二度一	一一度一	一三度八	八度二	一〇度六	一一度五
最多風向	南西	北	南西	北西	南西	西南西
平均風力	三米七	五米三	二米八	二米三	三米〇	二米七
天氣	晴	晴	半晴微雨	晴	晴	晴
降水量			〇耗一			
記事現象	午前日暈ヲ映ズ		午後二時中 <small>〇</small> 四時十五分迄南方ニ雷鳴			

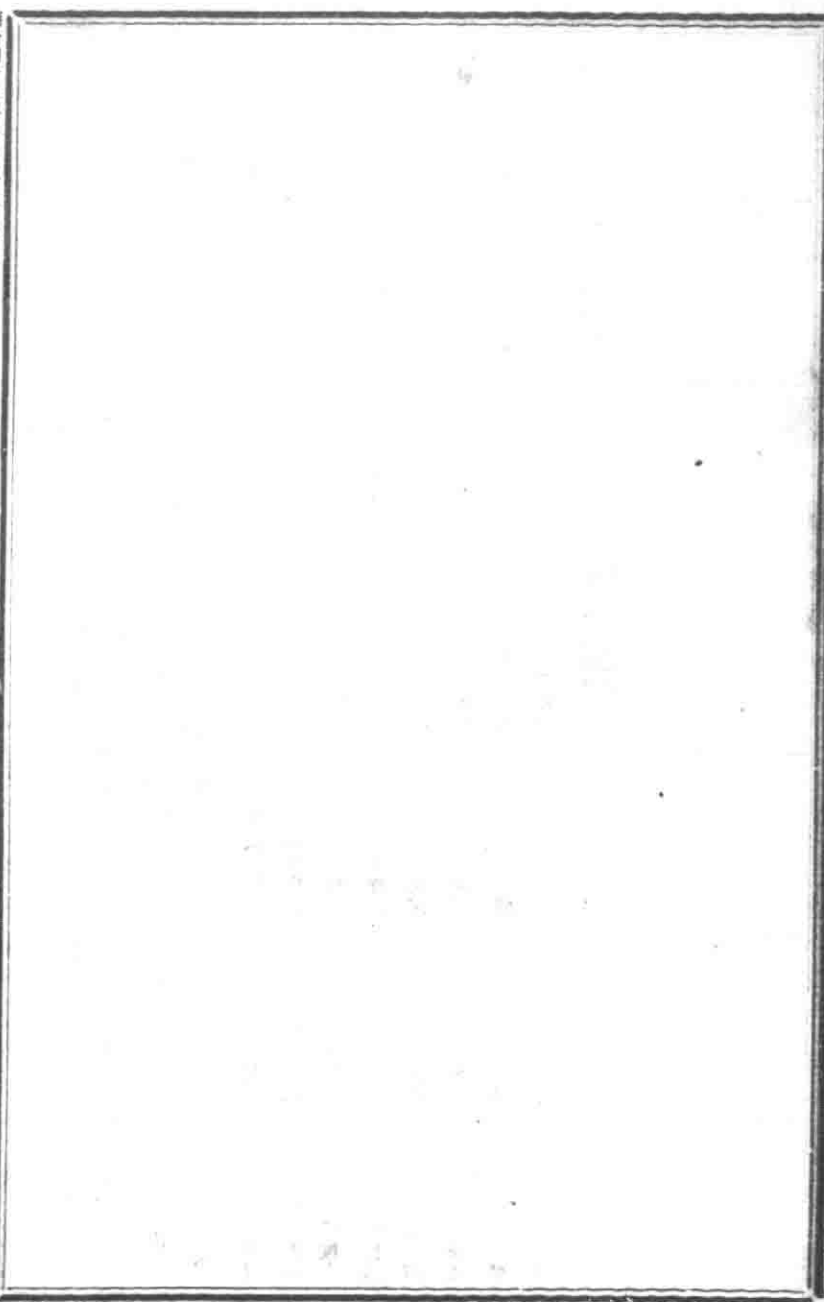
和歌山縣報

第九七八號

明治四十三年五月二十四日

(第三編) 縣報部

八



明治四十三年五月二十二日印刷

明治四十三年五月二十四日發行  
每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

印刷  
和歌山市北休賀町六番地

七